

IAJapan 認定活動方針

IAJapan は、価値ある認定サービスの提供のため、本方針に基づき認定活動を展開する。

1. 顧客の信頼を得られる認定サービスを提供するため、要員の力量の確保・向上を図り、将来にわたり認定機関の能力を確実なものとする。
2. 国際規格並びに ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び IAF (国際認定フォーラム) の要求事項を満たすマネジメントシステムを運営し、継続的な改善に取り組むことにより、信頼性のある認定サービスを提供するためのマネジメントシステムの一貫した運営を確保する。
3. 客観性をもって認定活動を行い、公平性を確保する。
4. マーケットのグローバル化・多様化に対応するとともに、社会的・政策的な認定ニーズに応える、的確な認定サービスを追求する。
5. 認定制度の有効性・有益性の周知に努め、その活用促進を積極的に行う。

2020 年 4 月 1 日

IAJapan トップマネジメント (認定センター所長)

署名:

岸本 勇夫

IAJapan 認定活動目標

2020年度の認定活動目標を次のとおり定める。

1. 業務の効率化を図り、外部リソースの活用を増やしつつ、研修・業務経験の拡充などによって IAJapan 職員及び外部審査員の能力向上を図り、また、必要な審査能力、評価能力等を有する審査員、技術専門家、評定委員等を確保し、認定機関の能力を確実にする。
2. ISO/IEC 17011:2017 並びに ILAC、IAF 及び APAC の要求事項に適合するとともに法令等を遵守したマネジメントシステムの運営を行う。併せて、このマネジメントシステムの一貫した運営を確保し、信頼性のある認定サービスを提供する。このため、以下の事項に取り組む。
 - (1) ILAC、IAF 及び APAC における認定に係る活動に積極的に参画するとともに、ILAC MRA 及び IAF MLA 並びに APAC MRA を維持する。
 - (2) 顧客満足度調査の充実などにより、認定サービスの継続的な改善を図る。
 - (3) 利害関係者に向け、認定情報及び公開情報を確実に提供する。
 - (4) 情報セキュリティを確保しつつ、IT を活用した確実かつ効率的な審査に資する電子システムの利用増大を図る。
3. 認定活動の公平性を確保するため、「IAJapan 公平性の確保に関する方針」を要員に周知徹底し、その確実な実施に努める。
4. グローバルマーケットや新規分野を含め、政策当局及び産業界等における認定ニーズの把握に努め、IAJapan として対応すべき認定ニーズに応える。また、認定・適合性評価に係る知見を活用し、より広いニーズに応えられる新たな施策の検討を行う。
5. 主に産業界に向けて、認定・認証制度の有益性の説明や、認定・認証の活用事例を示すなど、国内及び海外展開での認定制度の利用促進を図る。

2020年4月1日

IAJapan トップマネジメント（認定センター所長）

署名： 岸本勇夫